



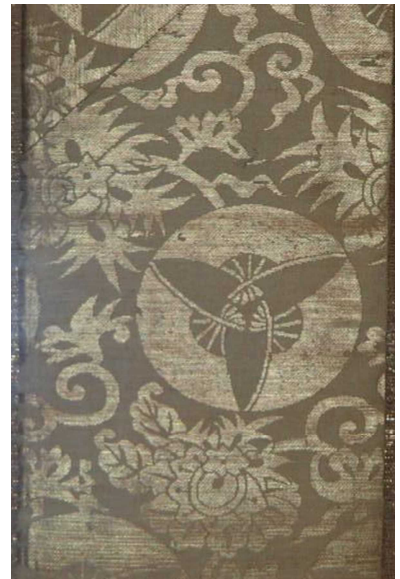
歴史民俗資料館で、只今展示中！

平成29年12月22日(金)まで



平林僧堂師家着用袈裟

金鳳山平林禅寺



紋様 まつだいらいずのかみけ みつおおぎ
松平伊豆守家 三つ扇

へいりんじ しろうずけいざんろうし
平林寺二十二世 白水敬山老師着用



石畳龍市松紋 紋様
糸袈裟(しちじょうけさ)



白水敬山老師

(平林寺ホームページ 禅僧列伝より転載)

展示資料提供：平林寺

人物紹介

しろうずけいざん けいざんそうきょう

白水敬山(敬山宗恭) 平林寺二十二世 明治30年(1897)～昭和50年(1975)

昭和15年から昭和48年まで平林寺住職、平林僧堂師家を務めました。敬山老師の伝記を

記すことは難しく、参禅弁道、大悟徹底された宗風は『敬山録』『牧牛窟閑話』『牧牛窟遺方』

などに詳細です。諱は「自恭」のちに「宗恭」と改め、室号は牧牛窟といひます。敬山はその

道号で、俗姓は白水氏です。

老師78年の生涯のうち、明治30年から大正6年までの21年間は俗界に住しました。

次いで発心出家して、博多聖福寺、岐阜正眼寺において参禅し、大悟されたのち、博多戒壇院

で聖胎長養を計られました。その後、昭和15年に平林寺に晋山し、昭和50年の寂年に至る最も多忙な時期を老師として務めました。

なお、老師と「耳庵」こと松永安左衛門氏の交友は深く、松永氏を弔うために、松永氏の墓は敬山老師自ら掘られたと伝えられています。

「歴民ドキ土器体験」

テラコッタ粘土を使い、縄文土器や土偶、装飾ペンダントなどを作る体験学習。
館内で乾燥させた後、陶芸釜で焼成して参加者全員に渡しました。

